泉岳窯 風だより

〇四五号

泉ヶ岳
陶の店
無我久庵
379-0506

もみじ 今 真っ盛り

岳山は錦秋の装い

初雪もそろそろ

夏の長雨とそれに続く連日の日照やり。畑の植物には過酷な季節でした。高温多湿の連続で、山道もジメジメの酷暑でした。もみじ前線もなかなか下りてきませんでしたが、紅葉とともに散り始め駆け足で枯れ木に変身です。

例年、美しさには今一歩のところで初雪の洗礼を受け、お客様を悲しませてなりそうです。無我久庵の紅葉歳時記ではは早い秋の訪れと、突風の出現頻度が今年は読めず、山裾でも見頃の判定は困難です。冬の歳時記から観ると初雪は遅くとも今年はかなりの大雪です。

栗も桃も大豊作。来年は不作の予感がします。今年はセッセと栗拾いをし、お客様の小鉢に入れサービス中です。中には棒でたたき、フェンスもまたいで桃を盗採する卑しき輩もおりましたが、環境学定点観測のカメラがしっかり捉えておりました。皆様に楽しんでいただく山の恵みです。マナーを守って採取していただきたいと願っております。 健

高原野菜 予約・好調

サツマイモ・里芋が豊作 コリンキーも好評

山小屋奥の畑で、完全隔離で種を採取している無我久庵の野菜。今年も、春から一年中、不織布の布で覆い、丹精込めて採取中。晩秋の中、岳山の環境に適した野菜は、今・生育真っ盛りです。大根・ハクサイ・サトイモ・赤辛子菜・ミズ菜・・・・。

しかし残念ながら長雨に遭い、今年は若干不作ですが、数が少ない上、特に秋の野菜は開店と同時になくなる事もあります。ご予約いただければ、安心かも知れません。 健

案内板

会員のための得々コース
11月から3月までサービス

11月 冬野菜特別ランチ
お食事メニュー（和風中華そば）
■冬を装ううつわ展
陶芸得々コース開設
珈琲無料優待券贈呈
新酒販売予約受付

12月 冬休み陶芸体験企画
お食事メニュー（和風中華そば）
陶芸得々コース開設
親子陶芸体験
新酒販売解禁（12/31）

1月 珈琲無料優待券贈呈
お食事メニュー（和風中華そば）
格安ランチ付き陶芸体験
■ 早春を彩るうつわ展
新酒を愛でる宴（要予約）

2・3月 珈琲無料優待券贈呈
お食事メニュー（和風中華そば）
格安ランチ付き陶芸体験
雪を観る茶会と鍋会食

大晦日・限定・要予約 歳納め・年越しそばの会

好評につき開催決定

十二月三十一日・十一時～十七時

年越し蕎麦セット（七百円）
ざるそば　純生甘酒
山菜小鉢　ヘルシーサラダ
お口取り　風呂吹き田楽
お新香

進呈品
招福ぐい呑み（陶製・風雅杯）
縁起宝船（御正月飾）

当日より新酒・岳冠雪販売開始
岳冠雪・600円 健

（要予約） 陶芸体験 得々コース

十二月より三月まで 静かな冬こそ作陶の時

期間　十二月～三月末
陶芸体験　千五百円
ランチ・ド・コース　二千円
（陶芸体験とランチのセット）
ライトコース　千八百円
（陶芸体験とそばのセット）
親子陶芸体験　三千円
（ドリンクサービス二本）

■二日前迄に予約が必要 幸

新酒予約受付

岳冠雪 九月醸造開始

本数限定・予約は早めに
5本購入で多様途皿進呈

十二月三十一日・歳納め年越しそばの会と同時に、限定発売解禁です。雪洞の中で醸成し、濃いうま味が自慢です。五本セットでお求め頂きますと特製、一器多様皿・一ケ進呈

価格　500㎖・六〇〇円

予約受付・十一月から受け付けます。
お早めにご予約下さい 幸

四季折々

コロナに明けてコロナに振り回された一年間。ようやく晩秋の山の風情に身を寄せる心の余裕も芽生え始めました。

学生の頃から山中に一人テント泊を続けていた都会のマタギは、夕闇の中に獣の姿を目撃する機会も人一倍ありました。

先日の夜半、トントンと戸をたたく人の気配。勿論ただの風音ですが、静かに耳を澄ませば狸の仕業とも思え楽しめます。

戸をたたく　狸と秋をおしみおり　蕪村

夜半、カーテンの隙間から月光に浮かぶ仏様。荘厳な佇まいが無我久庵を神々しく浮かび上がらせます。狸は仏様に変身なんかしません。切り株を見た寝ぼけまなこのマタギの妄想です。

秋の暮れ　仏に化ける狸かな　蕪村

早朝、泉ヶ岳に登り、時に雑木林に足を踏み入れると齢とともに新しい発見に出会います。

湿原に咲き誇るミズバショウ。泉ヶ岳山裾の湿原からは、近年すっかり姿を消しつつありますが、「♪みずばしょうの花が咲いている」と歌われる尾瀬の唄。しかし、白い部分は花ではありません。苞と呼ばれる部分で、花は近くに寄り、虫メガネで観て初めて判る小さく地味な中心部のポッチです。

和歌や俳句で詠まれるアジサイも、美しく愛でられるのは花ではなく、ガクと呼ばれ、花は真ん中の小さな粒のような偽の花です。虫を呼び込む植物の狡猾なトリックです。

真実は目をこらして見極めないと、危うい事になるとの自然の教訓かも知れません。

晩秋の野山ではナナフシの枝のような体が、外敵から身を守る「擬態」と呼ばれます。樹から枯れ葉のようにぶら下がるコノハチョウも紅葉で身を隠す昆虫の知恵です。

自然界はダマシで成り立っているのかも知れません。オレオレ詐欺、公務員の横領、政治家の嘘・・・・・せめて自分だけでも正直に生きたいと思うのですが・・・・・。 健

ゆとり炉無我久庵　泉ヶ岳山麓
陶芸教室ゆとり炉　無我久庵
泉岳窯ゆとり炉　泉ヶ岳離宮